



総務課

新庁舎に世界時計 東城・庄原ロータリークラブが寄贈

新庁舎の完成を祝い、東城ロータリークラブ(谷壮一郎会長)と庄原ロータリークラブ(山口三喜雄会長)から庄原市へ世界時計が寄贈されました。
この世界時計は、8個の時計を一緒に駆動させ、世界の8地域の時刻を同時に見ることが出来ます。
3月31日に新庁舎で行われた贈呈式には、約30人の会員が出席。新庁舎1階のロビーに飾られた時計を見て「新庁舎のシンボルの一つとして、多くの市民に親しんでほしい」と話していました。



世界時計の前でメンバーが記念撮影

総務課

親しみやすい庁舎へ 新庁舎市民見学会

新庁舎オープンに伴い4月18日、19日の2日間、市民の皆さんを対象に新庁舎見学会を開きました。
両日で延べ314人が参加。市職員が「自然環境にやさしい」など新庁舎の特徴を説明し、ゆつくりと庁舎内を見学しました。参加者は「新しい庁舎はやっぱりいいですね。普段開放されていない議場や市長室などに入れて楽しかった」と話していました。



議場を見学する参加者

新庁舎市民ホールを ご利用ください

市民ホールは市民に開放された空間として、ホールの休日開放をはじめ、各種イベントの開催、一定期間の絵画や写真などの作品展示、各種行政情報の提供など、市民の皆さんが親しみやすく利用しやすい「憩いの広場」として活用していきます。

市民ホールの利用を希望する方は、総務課行政係(☎0824-73-1123)へご連絡ください。



市民ホール

民生活課

交通安全グッズで事故防止を 庄原・東城交通安全協会が寄贈

庄原地区交通安全協会が3月17日、市へ交通安全啓発品を寄贈されました。
これは、子どもの交通事故防止を願って毎年行われているものです。市長室で行われた贈呈式では、管内の小学校新入学児童用にランドセルカバーと交通安全下敷き、新2年生用に反射キートホルダーが交通安全協会の藤本重夫会長から滝口季彦市長へ手渡されました。
また、東城地区交通安全協会も東城地区の新入学児童へランドセルカバーと交通安全下敷きを配布しました。



藤本会長(左)が滝口市長へ交通安全啓発品を手渡す

総務課

新戦力ががんばります 新入職員に辞令交付

新年度が始まった4月1日、庄原市役所で新入職員の辞令交付式を行いました。
男性8人、女性2人の計10人が式に出席。滝口季彦市長は一人一人に辞令を手渡し、「皆さんは職員である前に市民の一人であり、市民の視点で考え行動してほしい」と訓示しました。
新入職員を代表して、女性児童課に配属された安藤奈緒子さんが「全体の奉仕者として誠実かつ公正に職務を執行することを固く誓います」と力強く宣誓しました。



一人一人に辞令が手渡される

工観光課

市街地を花いっぱい 「花のある庭づくり」講習会

「花のある庭づくり」講習会を3月20日・28日の両日、庄原市街地で開催しました。
これは、市の「まちは公園リーディングプロジェクト」の一環で、備北丘陵公園と庄原市街地を結び、まちの魅力とにぎわいをつくろうと企画(株)グリーンウインズとやまの斎木義伸

課長を講師に迎え、本町支部女性会など延べ30人が参加しました。
20日は市街地の空き地に花壇を作り、花や木を植え込み、28日にはプランターを使った寄せ植え作品を作りました。参加者は「公園だけでなく庄原市街地でも花が楽しめるようにして、観光客を呼び込みたい」と話していました。



プランターづくりを楽しむ